

デジタル技術を活用した 児童生徒の不登校対策について

令和3年7月
都城市教育委員会

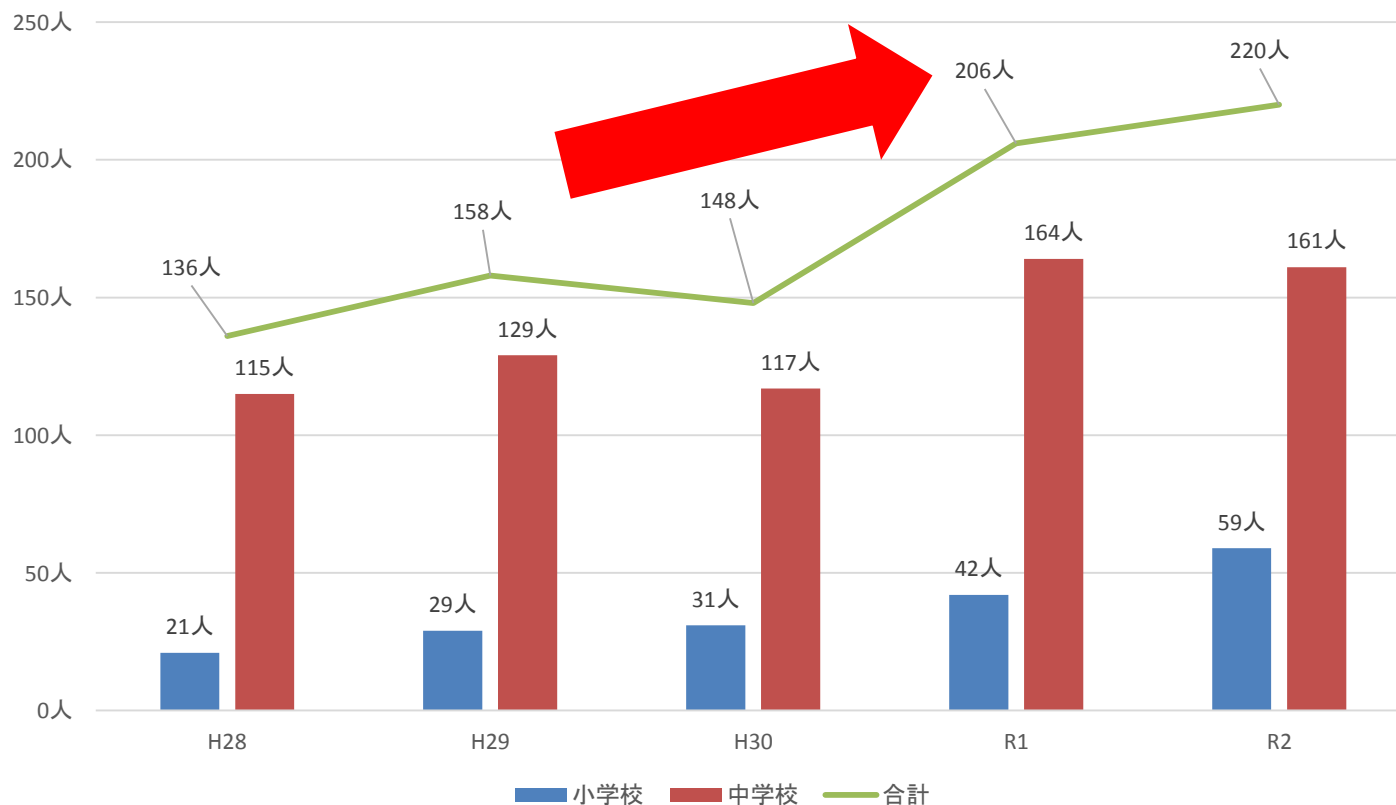
■本市の不登校の現状

不登校児童生徒数が**増加傾向**

速報値：R2年度は**220人**（在籍児童生徒の1.6%）

※文部科学省調査 全国の割合：R元年度1.8%

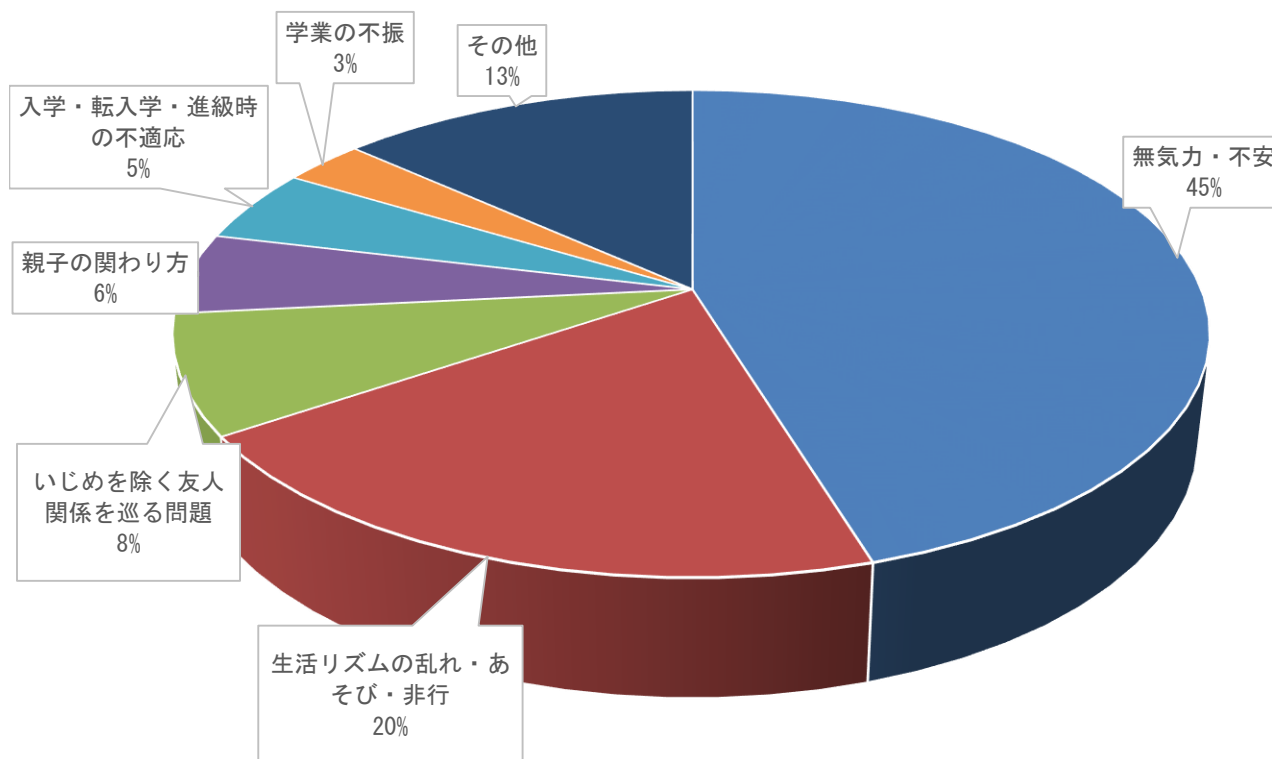
都城市における不登校児童生徒数の推移



■本市における不登校の要因（学校回答）

- ① 「無気力・不安(45%)」
- ② 「生活リズムの乱れ・あそび・非行(20%)」
- ③ 「いじめを除く友人関係を巡る問題(8%)」

不登校の要因(割合) ※令和元年度文部科学省調査



■本市の不登校対策

1 学校の対応

- ・家庭訪問等の定期確認
- ・教育相談
- ・関係機関との連携 など

教員ができる限り不登校の児童生徒の家庭に足を運んだり、電話連絡するなどして、対応している。

不登校の児童生徒と話をし、本人の不安解消に努めている。

市の関係機関、児童相談所、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと情報共有・対応について協議している。

2 市の支援

- ・教育相談員 7名配置
(適応指導教室 5名、学校教育課 2名〔生徒指導〕〔特別支援〕)
- ・スクールソーシャルワーカー 1名配置
- ・適応指導教室 (スプリング教室) 設置

令和2年度最大8名通級 延べ14名

3 県の支援

- ・スクールカウンセラーを14校に配置
- ・スクールソーシャルワーカー 2名配置



適応指導教室

■ 対策の問題点・課題等

・ 学校復帰できた児童生徒が、約2割（R2年度42名）いる一方で、状況が改善しない児童生徒も見られる。

※新規の不登校児童生徒数の増加も要因である。

・ 学校に復帰したいが、長期の欠席により、学級の雰囲気がわからず、学習面の遅れ等の不安を抱える児童生徒もいる。



■本市の新たな不登校対策

市の支援としての提案（概要）

○適応指導教室の一環として

①市の公共施設を利用

既存の施設を利用

○適応指導教室での1人1台端末の活用

②学校と適応指導教室を結ぶオンライン授業

③ドリルソフトの活用

デジタル技術

デジタル技術

■本市の新たな不登校対策

①市の公共施設の利用

【都城市立図書館】



落ち着いた
雰囲気



安心

【利用を促す取組】

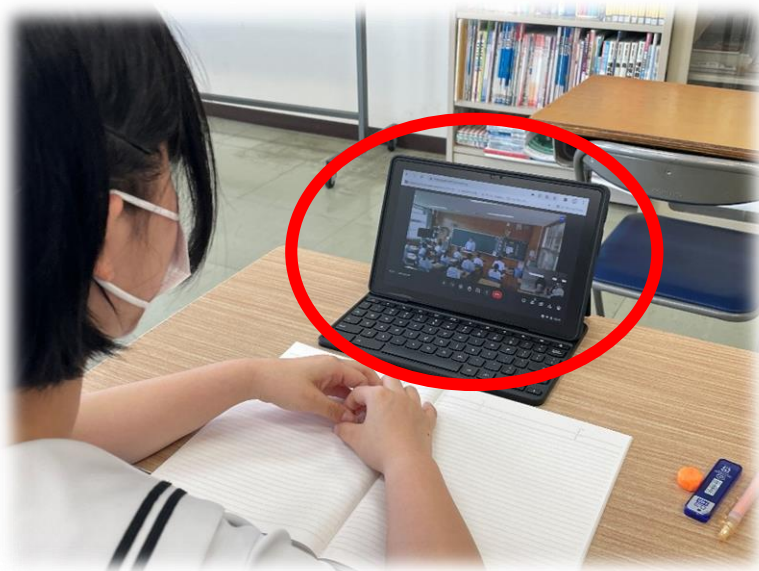
・私服での参加可 ・出席扱いとする など

児童生徒のニーズに応じた利用が可能になり、利用増につながる。6

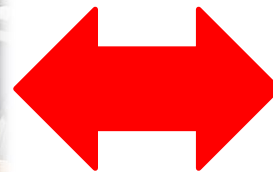
■本市の新たな不登校対策

②学校と適応指導教室を結ぶオンライン授業

自分の学級の学習の様子や学級の雰囲気もわかる！



【適応指導教室】

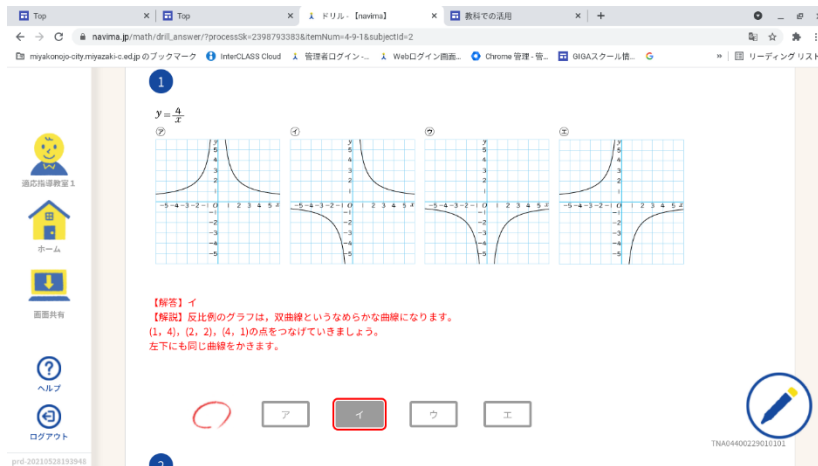


【在籍学級】

■本市の新たな不登校対策

③ドリルソフトの活用

自分の学習状況に応じて、自分で学習を進めていくことが可能



The screenshot shows a web browser window with a math drill interface. The main content area displays a coordinate plane with four graphs labeled ㉔, ㉕, ㉖, and ㉗. The equation $y = \frac{4}{x}$ is shown at the top left. Below the graphs, there is a solution key:

【解答】イ

【解説】反比例のグラフは、双曲線というならぬかな曲線になります。

(1, 4), (2, 2), (4, 1)の点をつなげていきましょう。

左下にも同じ曲線をかきます。

At the bottom, there are buttons for 'ア', 'イ', 'ウ', and 'エ', with 'イ' highlighted in red. A pencil icon is visible in the bottom right corner of the interface.

【数学】



The screenshot shows a web browser window with an English drill interface. The title is '6-1-2 主語+動詞+間接目的語+thatなどで始まる節 Speaking'. The main content area features a video player with a cartoon character in a classroom setting. Below the video, there is a text prompt:

スピーチを聞いて、目的に合うようにチャイム音の箇所にあてはまる文を言ってみましょう。

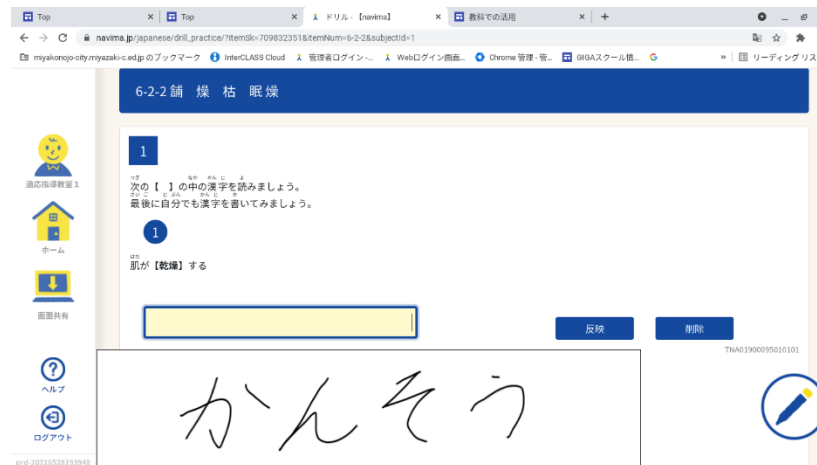
At the bottom, there is a goal section:

【目的】

アスリートたちが私たちに、挑戦することが大切であると示してくれた、と伝える。

A pencil icon is visible in the bottom right corner of the interface.

【英語】



The screenshot shows a web browser window with a Japanese drill interface. The title is '6-2-2 舗 燥 枯 眠 燥'. The main content area contains a text prompt:

次の【 】の中の漢字を読みましょう。

最後にも自分で漢字を書いてみましょう。

Below the prompt, there is a text input field containing the handwritten Japanese characters 'かんそう'. A pencil icon is visible in the bottom right corner of the interface.

【国語】

■本市の新たな不登校対策

市の支援

○適応指導教室の一環として

→ ニーズに応じた支援



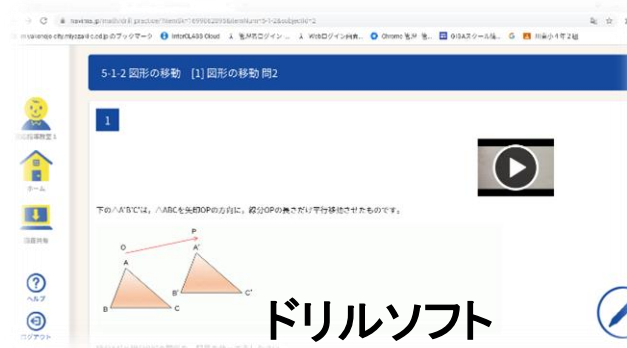
都城市立図書館

○適応指導教室における1人1台端末の活用

→ 不安解消・学習支援



オンライン授業



ドリルソフト



幸せ上々、みやこのじょう

日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

都城市_教育委員会_学校教育課